



## 昨年の実績と研修の必要性について

発表者：岐阜西ロータリークラブ  
研修リーダー 曾貝 寿

### 1. 昨年の実績

先期の研修委員長は、AGも経験している真鍋修身会員でした。2019年7月に受講した「クラブ研修リーダーセミナー」を踏まえて、特に職業奉仕に注力して会員を研修する方針で、8月26日の例会で、「ロータリアンの資質向上、ロータリーの基本的理念」をテーマに、卓話を実施しました。

その内容としては、

#### ①例会の充実について

- ・出席が楽しみな例会にする
- ・良い話を聞き、良い友達に会え、おいしい食事をする
- ・規律、礼儀は必要で、上着は着用してほしい。
- ・毎回、同じ会員のテーブルにならない工夫をする。
- ・会長の魅力は重要である。リーダーシップがあること。
- ・卓話の講師の選択も重要。

#### ②出席について

- ・出席はロータリーの命である。
- ・理由のない欠席者には、退会勧告も必要ではないか。

#### ③拡大について

- ・「人数を集めれば良い」は疑問。
- ・新会員のハードルは、下げ過ぎない。

#### ④奉仕活動について

- ・時代にマッチした奉仕活動をしよう。
- ・財団をもっと利用すべきである。

#### ⑤職業奉仕について

- ・4つのテストは、非常に大事である。
- ・人間形成、人作り

また、特に新会員に対して、「ロータリーの基本理念」と題し、ロータリーの歴史、目的、5大奉仕、4つのテスト、中核的価値観、3つの義務について、話しました。

研修委員長が、例会卓話を通して、会員に研修の重要性をアピールしました。

### 2. 研修の必要性

今期の国際ロータリー会長のターゲットにもあるように

「ロータリーとは、ただクラブに入会してみんなと食事をするだけでなく、「無



限の機会への招待」である。ポリオ根絶のように世界規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開くこと」を新会員やこのような機会を忘れてしまっている会員に対して、啓蒙活動が、研修となる。このような考えは、なかなか自然には、身につかないと思う。例会時だけではなく、親睦の機会毎に、より多くの会員に対して、発したい。また、ロータリー財団への寄付金についても、意義など忘れがちなので、卓話、クラブフォーラムなどで、会員に向けて発信したい。